

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
地域福祉の理論と方法 I Community development I		2年	前期	別途、時間割表参照
単位数	授業の形態	授業の性格		
2単位	講義	選択 (社会福祉士国家試験受験資格取得必修)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉関連科目、社会学				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
山田 昇	講義棟2F	月・木・金9:00～17:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
一連の社会福祉基礎構造改革・社会福祉法の施行により今後の社会福祉の原点は地域福祉にあるとされた。少子高齢社会が急激に進む中、地域福祉の推進は極めて重要である。本講義では、地域福祉の概念・歴史的展開・施設・居宅福祉サービスの在り方を学習し、今後の地域福祉の展開、それに必要なコミュニティソーシャルワークの重要性について学習する。				
授業の到達目標				
①地域福祉とは何か。地域福祉を構成する要件について理解できるようにする。 ②地域社会の変貌と住民生活との関わり方を理解できるようにする。 ③地域福祉の方策等について理解できるようにする。 ④コミュニティソーシャルワーク技術について理解できるようにする。				
授業の方法				
教科書及び参考資料・視聴覚教材を基に講義を中心として進める。				
学習の成果				
①住民の生活と地域社会（コミュニティ）の関連性を理解することができる。 ②個別援助・集団援助・地域援助技術の統合化の必要性を理解することができる。 ③居宅サービスを中心とする地域福祉の重要性を理解することができる。 ④住民及び行政・関係機関・団体との連携の重要性を理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の進め方、留意事項、成績評価等） 地域福祉を学ぶことの意義について			
第2回目	地域福祉を学ぶにあたって（地域福祉と社会福祉関連制度との関係について）			
第3回目	地域福祉の歴史的発展と考え方① 社会福祉の発展と地域福祉について			
第4回目	地域福祉の歴史的発展と考え方② 高度経済成長以降の福祉と課題について			
第5回目	地域福祉の要素① コミュニティの機能の変化と課題について			
第6回目	地域福祉の要素② 地域住民の生活と意識の変化について			

第7回目	社会福祉サービスと地域ケア① 居宅サービス及び関連サービスと地域生活について		
第8回目	社会福祉サービスと地域ケア② 施設福祉サービスと地域生活について レポート作成「地域福祉を推進するための住民の役割について」		
第9回目	自立支援の考え方と支援① 要援護者の個別支援について		
第10回目	自立支援の考え方と支援② 要援護者の集団支援について		
第11回目	地域福祉の主体形成① 地方自治体の対応と住民の組織化について		
第12回目	地域福祉の主体形成② 住民の意識の変革とコミュニティの形成について		
第13回目	ボランティア活動と福祉教育の推進について		
第14回目	地域福祉の推進体制の在り方について（行政・社会福祉協議会・NPO・民間組織）		
第15回目	まとめ～地域を耕すコミュニティケア～ 定期試験		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	20%	授業態度・出席状況等により総合的に判断する
	レポート	10%	第1回～第8回までの授業内容に関するレポート作成とする
	調査報告書		
	小テスト		
	中間・学期末試験	70%	論文（記述式）とする
	発表内容（態度含む）		
	その他		
教科書と参考図書			
教科書：「地域福祉の理論と方法」社会福祉士養成講座・中央法規 参考書・参考資料：授業の都度指示、資料を配布する			
履修上の心得・ルール			
地域福祉、ボランティア活動、福祉教育に関する資料を収集しておくこと			